

---

**涙のあとにかかる虹が此処にあるから。**

Misho

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

涙のあとにかかる虹が此処にあるから。

### 【Nコード】

N4733S

### 【作者名】

Misho

### 【あらすじ】

花夜の亡くなった親友、明柚のことでケンカしてしまった花夜と慧美の2人。

花夜と慧美は、自分たちの気持ちをつなぐことはできるのか…？

## Day 1

慧美さとみのバカ。

明柚あゆのこと何も知らないクセに。

明柚が死んだ時、私がどれだけ泣いたか知らないクセに。

明柚が…どれだけ苦しかったか知らなかったクセに。

明柚と私が…どれだけ一緒にいたか知らないクセに。

どうしてあんなことが言えるのよ…

慧美を信じた私はバカだったの？

慧美は…私に明柚と過ごした日々を忘れるというの？

私が明柚を忘れたら、彼女は消えてしまうのに…

花夜かよのバカ。

私は明柚さんのこと知らないよ。

明柚さんと花夜の関係も知らないよ。

私は花夜の悲しい顔を見たくないから、明柚さんとの日々を仕舞って欲しいって言ったの。

どうしてそれをわかってくれないの？

明柚さんと花夜が過ごした日々が彼女を苦しめるように…

私が花夜と過ごした日々ものに花夜を苦しめてしまっんじゃないかと思った。

だから、ひどいことを言っただけ花夜を突き放した。

これ以上私と花夜が一緒にいたら、彼女の心は壊れてしまふと思ったの。

## Day 2

どうして慧美があんなことを言ったのか。

それを昨日一晩中考えてみた。

もしかしたら、慧美は私が明柚のことを話すときにいつも泣いてたから、それを気にしてた？

もし、私と明柚に起こったことが私と慧美の間に起こったら…と彼女は考えた？

だとしたら、謝らなくちゃ…

慧美とまた一緒にいたいから。

どうして花夜が怒ったのか…

それを一晩中考えてた。

もしかして、明柚さんとの思い出は彼女にとって想像以上に大きいものだったのかもしれない。

だったら、花夜に謝らなくちゃ。

私はやっぱり花夜と一緒にいたい。

2人でまたたくさんケンカして、たくさん泣いて、たくさん笑いたいから。

## FINAL

『ごめんなさい』

2人きりの教室に響いた言葉。

2人声を合わせて言った気持ち。

2人の頬にはきれいに涙がつたった。

「花夜…ごめん。ごめんね…」

慧美は花夜を強く抱きしめる。

「慧美…ごめんね。私、私…」

花夜も慧美を抱きしめた。

そして、たくさん、たくさん泣いた。

ごめん、ごめんと繰り返しながら…

「ねえ、花夜…見て？」

慧美が空を指差した。

そこにはきれいな夕焼けが広がっていた。

「キレイ…」

花夜がにっこりと笑った。

「見て、虹だよ！」

「本当だ！虹だね！」

「でも、雨降らなかったよね。」

「もしかしたら、私たちが泣いたから出たんじゃないかな。」

「そうかもね」

2人は、空に映る2人にしか見えない虹を眺めた。

その虹は、2人の涙でぬれた瞳が見せているものだ。

しかし、確かに2人が見ている虹は同じだった。

だって、2人は心からつながることができたから。

あなたと大切な人の間にかかる虹はあなたの心にいつもある。

もしも涙が出てきたら、空を見上げて目を閉じて。

あなたとあなたの大切な人は心の虹でつながってる。

どんなにつらい時でも、大切な人を忘れなければその虹は消えないから。

別れはいつか訪れるけど、お互いが忘れなければ心の虹は絶対に無くない。

どんなに離れていても虹はつながっているよ。

（後書き）

こんな駄作を読んでくださってありがとうございました♪  
よかったら、私の他の作品も見えていってくださいな♪

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4733s/>

---

涙のあとにかかる虹が此処にあるから。

2011年10月8日18時11分発行